

教育課題に関するグループ研究発表会

を開催しました

5月23日(金)、教育創造コースは、「教育課題に関するグループ研究発表会」を実施しました。

3年生は、昨年7月から3～4名のグループを結成し、教育界が直面している現代的な課題に関するテーマを自ら設定して、探究活動を行ってきました。

班	研究テーマ
1	小学生の体力低下の原因と対策
2	こどもが楽しめる食育
3	生徒が自発的に取り組める授業とは？～in 歴史～
4	不登校児童生徒を減らすためには何ができるのか
5	環境を通して行う幼児教育
6	小学校の給食と教育の関係～食品ロスについて～
7	ICT 機器を用いて学習意欲を向上させる方法～数学～
8	中高生からでも身につくリスニング力
9	子どものことをいち早く理解するには？ ～小学校教師の子ども理解とその手段について～
10	生徒たちが主体的に取り組む日本史の授業とは？ ～詰め込み教育を植え込み教育に～

探究の過程では、香川大学の先生方をはじめ多くの方々にアドバイスやご指導・ご協力をいただきました。どの発表も、本コースでの様々な教育支援活動や出前講座等で学んだことをもとにして、実践や試行錯誤を経た上での探究の成果が語られました。



1、2 年生からは積極的な質問の手が上がり、教育のあり方について活発な意見交換が行われました。

香川大学教育学部の小方先生、川東先生からは数多くの貴重な指導助言をいただき、香川県教育委員会事務局の栗田主任指導主事からは、心温まるご講評をいただきました。

教育創造コース生たちの、教員をめざす思いがあふれ出るような発表会となりました。

